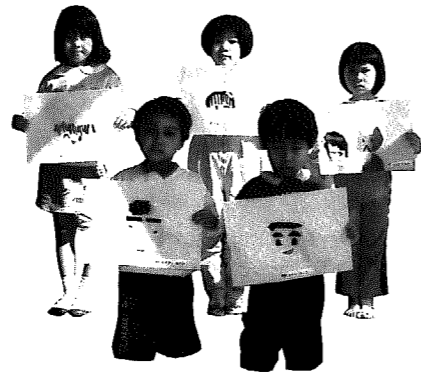


■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線215）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写ってましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

■写真下段左から…やまぎしゆたかくん、まがらけんたくん（中央保育園・五歳児）



■写真上段左から…あなざわはるかちゃん、やまだあやかちゃん、えんどうゆかちゃん

ぼくらの自信作

スポーツ大会結果

村民バドミントン大会 (2月26日)

- 一般Aの部…①石倉勉・小松弘子ペア
②早川喜隆・丸山由恵ペア ③荒川直樹・加藤早苗ペア ④荒川早苗・早川広美ペア
一般Bの部…①小松数直・滝沢洋子ペア ②尾崎弥生・山上久美子ペア ③加藤恵子・小松弘子ペア
小学生の部…①永井裕介 ②滝沢洋子 ③朝妻美保子
中学生の部…①阿部真也 ②山上勇人 ③藤田真澄 ④田中翼
パンピの部…①小松数直・近藤康一ペア ②渡辺ゆかり・小松弘子ペア ③山上和也・尾崎弥生ペア ④朝妻美保子・滝沢君枝ペア

男女混合 ソフトバレーボール大会 (3月5日)

- 優勝…西中チーム
準優勝…桃太郎Aチーム
3位…ビーチセブンチーム
3位…ガンバーズチーム
敢闘賞…カトレアチーム

室内ゲートボール大会 (3月7日~10日)

- 優勝…千歳Bチーム
準優勝…カチントキラクチーム
3位…間瀬チーム
3位…喜楽チーム
敢闘賞…和納1区チーム



高屋地区 間瀬七区の本間源作さんから、間瀬高屋地区の念佛講についてのご報告がありましたので、一部を抜粋してご紹介します。同念佛講は、遠く江戸時代より続いているもので、御先祖様の供養の場であり、又地区のお年寄りの語り合いの場でもあります。
毎月二十四日の「地藏尊の命日」には、お養錢を出し合ってお地蔵の供養をしている皆さんですが、今回の阪神大震災に際して、その講の運営費の中から、少しでも被災者の皆さんのためになればと、御寄付をお寄せいただきました。本間さんは、「無念、無想、そして邪心の無い七十歳、八十歳のおばあさんたちのその澄んだ瞳はまるで童女のように最高に良い顔」と話してくれました。

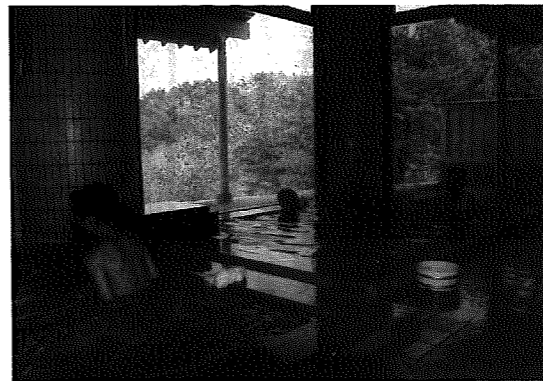
高屋地区 念佛講のお養錢の一部を寄付



▲堀校長から一人ひとりに卒業証書が…
▲卒業生を代表して答辞を述べる神田君

別れと出発 —岩室中学校卒業式—
三月といえば卒業式のシーズンです。先月、村内の小・中学校でもそれぞれ卒業式が行われました。ここ岩室中学校でも、先月八日に卒業式が行われ、期待と不安を胸に秘めた卒業生百三十三名が、旧友との別れを惜しみながらも新しい世界へ向けて出発しました。式典では、堀校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が贈られると、卒業生らはそれぞれの思い出に胸を熱くしていました。

遊雁の湯「よりなれ」で 湯つくり、遊つたり
先月22日(27日)、村民に無料で開放
村民の皆さんの心身のリフレッシュの場、岩室村健康増進センター・遊雁の湯「よりなれ」が本日(四月一日)オープンします。
そこで、村民の皆さんに一足早く入っていたらと先月二十二日から二十七日までの六日間、「よりなれ」を無料開放しました。
期間中、完成を心待ちにしていた方が大勢駆けつけ、連日満員の大盛況でした。浴室から眺める岩室の街並みは、必見の価値あり。皆さんもぜひどうぞ！



イワムロの皆さん、コンニチワ!! —韓国農漁村振興公社の8名が来村—

先月6日と7日の両日、韓国の農漁村用水事業と大単位事業及び調査設計の各担当者8名が、「大区画ほ場整備事業」の研修のため新潟県を訪れ、7日には当村の新々樋曾山隧道と完成したばかりの環境改善センターを視察しました。
当日は、現地を視察した後役場庁舎を訪れ、事業担当課の建設課の職員より説明を受けた後、事業実施状況などについて真剣に質問をしていました。最後に、鷺沢村長と記念写真を撮影し、次の視察地へと向かいました。

村民待望の4施設が完成! —4施設が合同で竣工式—

平成6年度に完成した4施設「村立岩室小学校」「岩室村農村環境改善センター」「岩室村健康増進センター」「夏井ハザ木展望施設」の完成を祝う、「4施設合同竣工式」が先月10日、岩室小学校で挙行されました。
当日は、鷺沢村長による式辞、金子収入役による工事経過報告、来賓による祝辞の後、岩小児童を代表して瀬戸川純一君が「卒業まで残り日数はあとわずかですが、この新しい校舎で思い出をいっぱい作りたい」と喜びのこぼれを述べました。



ご協力ありがとうございました
「阪神大震災チャリティーバザー」
先月五日、公民館講堂において「阪神大震災チャリティーバザー」が開催され、大勢の人たちで賑わいました。前日から婦人会の皆さんが一生懸命値札付けをし、フロアいっぱいになり並べられた毛布やタオル、食器類など。それらの品物も、バザー開始時間の九時を待って訪れた人々たちによって、あっという間に売り切れてしまいました。
この売上金十八万三千七十五円は、義援金として村を通じて被災地へ送らせていただきました。

